



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵を
つくりました

地元の声

・ 人家や避難所を守るために、早急に対策をしてほしい。(地元住民)

事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがありました。



事業後

◆ 防護柵をつくることにより落石や崩壊した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減しました。



事業の概要

- 事業箇所：上野村勝山
- 事業内容：防護柵工 延長75m
- 事業期間：令和3年度～令和4年度



事業の進捗状況 (令和4年度完了)



今、何をしているか

令和4年度に本事業は完了しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了